

日本歯科東洋医学会 医科と語れる歯科漢方Specialist養成講座

2012年から漢方薬7処方処方保険導入され、歯痛、口内炎、口渇、歯周病に処方できるようになり、歯科医師も単に知識としてだけでなく、積極的に日常歯科臨床へ東洋医学を取り込むべき時代になりました。

学会といたしましても、これまでに漢方導入の研修会等を実施してまいりましたが、2014年度は本格的な「歯科漢方Specialist養成講座」を1年間かけて実施することとなりました。漢方の基本知識から、日常臨床への導入、処方、応用に至るまで、徹底的に学んでいただきます。

一度に大人数で受講できる内容ではございませんので、先着順による受付となります。お早目にお申し込みください。

日本歯科東洋医学会 会長 大竹 和行

<講師からのメッセージ>

今回歯科漢方セミナーをお引き受けすることになりました小澤です。慶應大学医学部歯科・口腔外科教室の研修医を対象に漢方セミナーを2009年から行っております。以下の文章は、そのセミナーにおいて、漢方製剤の副作用の項において述べたものです。

『漢方治療はエキス剤の普及により医師の7割近くが日常において処方している現実がある。このことは一見喜ばしいことではあるが、問題点も多く出てくることを予見させる。歯科医師の立場で漢方治療・漢方薬を保険診療ベースで運用することは制限があるが、歯科医院を訪れる患者の多数が漢方薬を内服しているのも現実である。「自分は漢方薬を扱わないから漢方の知識は必要無い」と考えるならば、医療者として患者の期待に応えるチャンスを逃すことになるかも知れない。ここで述べる「漢方エキス剤の運用の注意点」では、漢方薬を処方する歯科医師はもちろんのこと、処方しない歯科医師でも医療者の常識の一部として知っておいてもらいたいことをまとめた。』

この文章を考えた時、日常臨床で漢方薬を処方する医師は7割程でしたが、すぐ8割、そして9割に変更し現在に至っております。それは漢方医療に対しての時代の要請が、いろいろな意味において待った無しの状況であることを表しています。

そして、今回このセミナーを受講して下さる諸氏は、紛れもなく漢方を日常臨床に活用している方、しようと決意している方であると思います。明治維新により一旦衰退した漢方を復興したのは、西洋医学を勉強した医師達を中心でした。現在、この国において、私たちが漢方医学として行っているものはその流れの中にあります。そのため、大きな特徴としては、西洋医学的な観点と東洋医学的な観点を持った医学ということが挙げられます。

これを踏まえて、本セミナーもその観点から進めて行きたいと思っております。例えば口腔異常感症を治療する際は、西洋医学では精神医学、心身医学の知識を必要としますが、漢方治療は心身一如の考えに基づき治療します。現代の歯科医師にはこの様な両方の視点が必要と考えます。

尚、漢方医学の習得方法として、私が漢方を勉強し始めた頃「漢方は実践で覚えなくては役に立たない」「量の上の水練ではダメだ」とよく師匠から聞かされました。それに従い、既存の様な一方通行形式の講義ではなく、講義の後各自が必ず自分のクリニックで処方し、その結果を次回の症例検討会で徹底的に討論をし、理解をし、実力をつけるセミナーにしたいと思います。

皆様と議論し、お互いに向上することを楽しみにしています。

講師 小澤 夏生

	日程	研修内容
第1回	5月25日(日)	≪ 講 義 ≫ 口腔異常感症(舌痛症、歯痛、口腔乾燥感等) ≪ 症例討論 ≫ 舌痛症、歯痛、歯肉痛、口唇痛、口腔乾燥感
第2回	7月13日(日)	≪ 講 義 ≫ 口腔異常感症(味覚障害、顎関節症) ≪ 症例討論 ≫ 舌痛症、口腔乾燥感、味覚異常、顎関節症等
第3回	9月28日(日)	≪ 講 義 ≫ 口腔乾燥症 ≪ 症例討論 ≫ 口腔乾燥症
第4回	10月26日(日)	≪ 講 義 ≫ 口内炎(カタル性口内炎、アフタ口内炎、潰瘍性口内炎) ≪ 症例討論 ≫ 口内炎(カタル性口内炎、アフタ口内炎、潰瘍性口内炎)
第5回	1月25日(日)	≪ 講 義 ≫ エキス剤運用の注意事項 ≪ 症例討論 ≫ 副作用の症例

[講師略歴]

東京歯科大学卒業
小澤歯科醫院院長
慶應大学医学部歯科・口腔外科非常勤
歯科医師(漢方外来担当)
日本歯科東洋医学会認定医・理事
日本東洋医学会秋田県幹事
日本歯科心身医学会認定医
東亜医学協会会員
主な研究テーマ：
「口腔領域の漢方治療」
「東洋医学における心理療法」

※全日程、10:30~12:00が講義、
13:00~15:30が症例討論です。
(必ず症例をご持参願います。)

【対 象】 会員歯科医師 先着30名 **※会員歯科医師限定。5回全てを受講できる方のみが対象。**

【会 場】 T K P スター貸会議室 東京駅八重洲 301室 「東京駅」八重洲中央口または八重洲北口より徒歩2分

【参加費】 事前登録制(2014年5月15日(木)まで) 75,000円(5回分の受講料です。)

【申込方法】 以下の参加申込書に必要事項をご記入いただき、FAXにてお申し込みください。お申込みいただいた方には会場へのご案内、お振込先等をご連絡いたします。

【申込先】 日本歯科東洋医学会セミナー事務局 FAX: 03-3947-8873 電話: 03-3947-8761 Eメール: gakkai2@kokuhoken.or.jp

日本歯科東洋医学会「漢方Specialist養成講座」申込書 FAX 03-3947-8873

氏 名	(フリガナ)
勤務先名称	
勤務先住所 〒	
TEL	FAX
E-mail	
振込先や会場案内をE-mailでご案内いたしますので、必ずご記入ください。	